

脈々 スピリッツ 高蔵 魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

「先ず格に入りて後格を破る」  
のち

頭で理解した知識や技能も、実際に試して、初めて身についた技となる。現場で鍛えられ、変化の中で磨かれ研ぎ澄まされるのでなければ、実用には耐えない。

始めるに当たっては、何よりも先ず師を求めよ。いくら才知や技能に長け、情熱があったにしても、自己流の努力では、早晚伸び悩むことになる。謙虚に教えを請い、先達の見よう見まねから始め、それに没入せよ。

知識なき熱誠は逸馬の如し。

(「藪椿」12-22)